

中期経営目標

- 1 確かな学力 自学力を育み、夢を持ち学び続ける学習意欲・学習習慣の定着を図る
- 2 豊かな心 礼節と規範意識を身につけ、何事にも一生懸命取り組む態度を育成する

	短期経営目標	目標達成のための 方策	評価指標 (項目)	前年度 実績値	目 標 値	中間評価		最終評価			担 当	達成状況の分析	次年度向けの改善方策
						実績値	達成率	評価	実績値	達成率			
確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の定着	反復練習の徹底 ノート指導	実力テスト50点以上の生徒の割合(5教科平均)	1年 53.5% 2年 56.3% 3年 41.3%	50%	1年 73.5% 2年 38.7% 3年 44.1% (2回目実績)	1年 147.0% 2年 77.4% 3年 88.2%	1年A 2年C 3年A	1年 58.7% 2年 36.0% 3年 55.3% (1・2年は3回目 3年は4回目実績)	1年 117.4% 2年 72.0% 3年 110.6%	教務部	1年生は、理科以外4教科目標を達成した。2年生は、50%以上を達成したのはなかった。3年生は、3教科目標を達成した。1年生は、学力の2極化が顕著になっている。2年生は、全体的に学力の定着が十分でない。3年生は、国語、社会、英語で高いが、特に理科に課題がある。 学校の学力向上の取組に対して保護者はおおむね満足している。個々の生徒への指導体制を丁寧にしていく必要がある。家庭での学習習慣について、十分ではない。	自学力の育成をキーワードに生徒自らが学びとる力をはぐくんでいきたい。授業では、課題解決型の授業スタイルを確立するとともに特別支援教育の視点での授業改善を図る。また、家庭学習とのつながりを持たせる課題等の提示を行う。 課題の大きな生徒には、個別の指導体制を整え、学習方法や家庭学習の定着を図る 基本的なノートスタイルを決め、全教科で一貫した指導を行う。
			保護者の満足度(アンケート「学力を高める取組をしている」)	89%	90%	87%	96.7%	A	90%	100%			
	自学力・思考力・表現力の育成	単元レポート指導 NIE活動の充実 書く活動の充実 個に応じた指導の工夫・授業改善	三次市学力到達度検査の活用力の正答率(5教科平均)	1年 48.1% 2年 46.2%	55%	-	-	1年B 2年B	1年 48.1% 2年 47.0%	1年 87.5% 2年 85.5%	教務部	教科による差がある。記述式の正答率が低い傾向。書いてまとめる活動の指導、評価等の工夫改善が必要である。	課題解決型の授業スタイルの確立とともに書く活動を取り入れた指導を行う。レポート作成など週末課題として取り組む。
				1年 81.3% 2年 48.4% 3年 50.0%	60%	78%	97.5%	B	74%	92.5%			
	1時間以上家庭で学習できる生徒の育成	吉舎中スタンダードによる指導 自主学习ノートの指導	家庭学習1時間以上の生徒の割合(アンケート)	1年 45.5% 2年 50.0% 3年 78.9%	60%	78%	97.5%	B	74%	92.5%	生徒指導部	1年生の家庭学習習慣が2極化傾向である。2年生は学習習慣低下傾向である。3年生は、入試を控え、家庭での学習が定着してきている。2年生への指導のあり方を見直し、学習習慣の定着を図る工夫が必要である。 生徒の家庭での学習状況が反映されている。家庭との日常的な連携を図りながら家庭学習の習慣化を指導していく。	学びあう学級集団を育成する学級経営指導の研修を行い、指導の一貫性を高める。個別面談や家庭連携を図り、目標を持たせた学習習慣を身につけさせる。
			家庭学習の定着における保護者の満足度(アンケート)	75%	80%	78%	97.5%	B	74%	92.5%			
豊かな心	自己肯定感の育成	生徒会委員会活動の活性化	生徒の満足感(アンケート「活発だと思う」)	1年 75.8% 2年 78.1% 3年 94.7%	80%	1年 84.4% 2年 83.9% 3年 88.2%	1年 105.5% 2年 104.9% 3年 110.3%	1年A 2年B 3年A	1年 90.3% 2年 75.0% 3年 93.8%	1年 112.9% 2年 93.8% 3年 117.3%	生徒指導部	3年生は、リーダーとして生徒会活動を引っ張ってきた。その充実感を感じており高い満足感である。2年生もリーダーとしてバトンタッチをしているもののまだ受け身的になっている。 3年生は、目標値を超えている。学級内でお互いのよさを出し合うなど認め合える集団となっている。2年生も生徒の学級所属感が高まっている。 アンケート調査等により生徒間の人間関係について把握し、課題に対し速やかに生徒指導部を中心に組織的に対応している。	委員会活動の年間計画を明確にし、思い付きでなく準備や取組が深まる指導を行う。 生徒の学習や部活動の取組の頑張りを評価し伝えていく場を確保する。 地域と連携をとった活動を総合的な学習の時間等を利用して充実していき、生徒の自己有用感を高めていく。(成功体験を大切に)
		部活動、ボランティア活動、体験活動の充実	生徒の満足感(アンケート「周りから認められている」)	1年 48.5% 2年 71.9% 3年 60.5%	60%	1年 53.1% 2年 54.6% 3年 64.7%	1年 88.5% 2年 91.0% 3年 107.8%	1年B 2年B 3年A	1年 54.8% 2年 56.3% 3年 68.8%	1年 91.3% 2年 93.8% 3年 114.7%			
		いじめ認知・解決(アンケート)	-	100%	100%	100%	A	100%	100%				
		相互理解を深めるピア・サポート活動の推進	生徒の自己肯定感(アンケート「良いところがある」)	1年 57.6% 2年 71.9% 3年 78.9%	75%	1年 53.1% 2年 64.5% 3年 76.5%	1年 70.8% 2年 86.0% 3年 102.0%	1年B 2年C 3年A	1年 64.5% 2年 59.4% 3年 75.0%	1年 86.0% 2年 79.2% 3年 100.0%			
	礼節と規範意識の定着	吉舎中3か条の徹底	生徒アンケート(授業、生活、環境)	-	授業80% 生活90% 環境95%	授業 90.9% 生活 84.8% 環境 94.1%	授業 113.6% 生活 94.2% 環境 99.1%	授業A 生活B 環境B	授業 89.8% 生活 83.6% 環境 91.2%	授業 112.3% 生活 92.9% 環境 96.0%	吉舎中三カ条の徹底について、徹底を図っている。無言掃除については、かなり定着してきている。	あいさつ、返事、はきもの揃えを重点項目に掲げ、一貫した指導を実施する。	

評価：A（100%～）、B（80%～100%）、C（60%～80%）、D（～60%）